

多様な人とかかわる中で、自他のよさを認め合い、協調して学び、新たな自分を発見できる子どもの育成

学校通信 ひがしやま 第38号	発行日	令和6年8月27日(火)
	発行者	別府市立東山幼稚園 別府市立東山小学校 別府市立東山中学校 校(園)長 谷川 芳明

○第2回東山地区公民館運営委員会(第1回運動会実行委員会)について。

8月8日(木)19時から城島公民館で開催されました。「第27回東山幼小中学校・地区合同大運動会」について本校からは校長、両教頭、渡部先生(運動会担当)が出席、PTA 執行部からは村津会長が出席されました。

なお、本委員会開会に先立ち、例年、運動会前に歴代PTA会長さん、地域の有志の方々による敷地内の草刈りを行っていただきましたが、連日の猛暑の心配から、別府市教委に相談したところ、市が業者に草刈りを委託、運動会前に実施することをお伝えしました。

★★

○全国学力テスト(小6・中3対象)の結果分析について。

文部科学省の分析では、「新聞を読む頻度」と各教科の「平均正答率」の関連において、「ほぼ毎日読む」の「正答率」が最も高く、読む頻度が下がるにつれて、「正答率」が低くなる傾向。「ほとんど、または全く読まない」は小学校・中学校の国語と算数・数学の両方で「正答率」が最低。このような指摘は以前からもあり、相関関係はあるようです。ニュースなら情報伝達のスピードが速いテレビやスマホでも見ることができます。ただ情報分析や専門家の意見など盛り込まれた記事を読むことで「文章に慣れる」、さらに「興味・関心をもつ」ことに繋がる可能性を考えると長い人生においては、何かしら「有意義」なツールの一つとは言えると思います。

★★

○「別府学」について。

『別府市教育行政アクションプラン』の基本方針2「地域に学び、地域で育み、地域を創る教育」の施策3『「ふるさと別府」を探究する学びの推進』において「別府学の推進」が位置づけられています。小中学生は別府市の歴史、温泉、観光、伝統文化や先人の功績等を学び、別府に対する誇りと愛着及び自らまちづくりを担う心を育むことを目的に作成された「別府学」の資料(画像)を授業で活用するなどしています。

